
四日市市
サービス提供事業所調査
報告書

令和8年7月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 調査結果	2
問1 貴法人について	2
問2 介護サービスについて	3
問3 日常生活の支援について	9
問4 地域や多職種間での連携について	10
問5 認知症対策について	11
問6 医療との連携、在宅での療養・介護について	12
問7 今後の介護について	15

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	市内に事業所を持つ介護保険サービス提供事業者(法人)
実施期間	令和7年12月22日(月)～令和8年5月14日(木)
実施方法	WEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

対象数	有効回答数	有効回答率
204 件	82 件	40.2%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている。
4. クロス集計表において、各項目(表側)における上位1位、上位2位に色付けをしている。

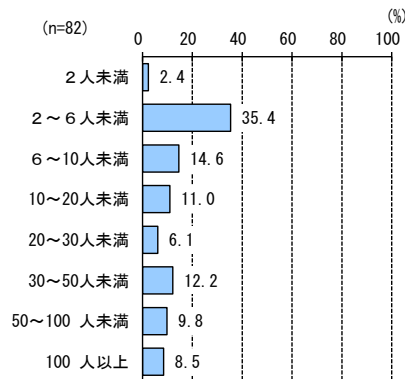
2. 調査結果

問1 貴法人について

●貴法人の四日市市内の事業所の職員数は、常勤換算で何人ですか。

○ 事業所の職員数（常勤換算）について、「2～6人未満」が35.4%で最も多く、次いで「6～10人未満」が14.6%、「30～50人未満」が12.2%となっています。

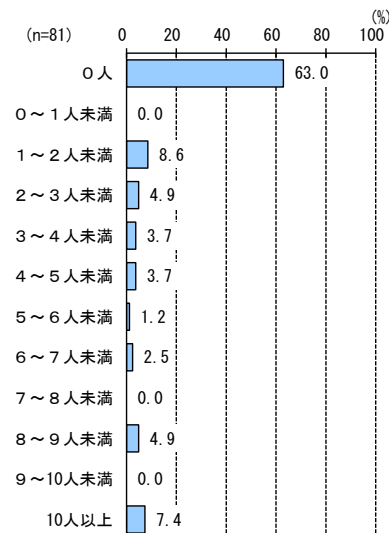
【事業所の職員数（常勤換算）】



●貴法人の四日市市内の事業所における外国人人材の受け入れ数は、常勤換算で何人ですか。

○ 外国人人材の受け入れ数（常勤換算）について、「0人」が63.0%で最も多く、次いで「1～2人未満」が8.6%、「10人以上」が7.4%となっています。

【外国人人材の受け入れ数（常勤換算）】

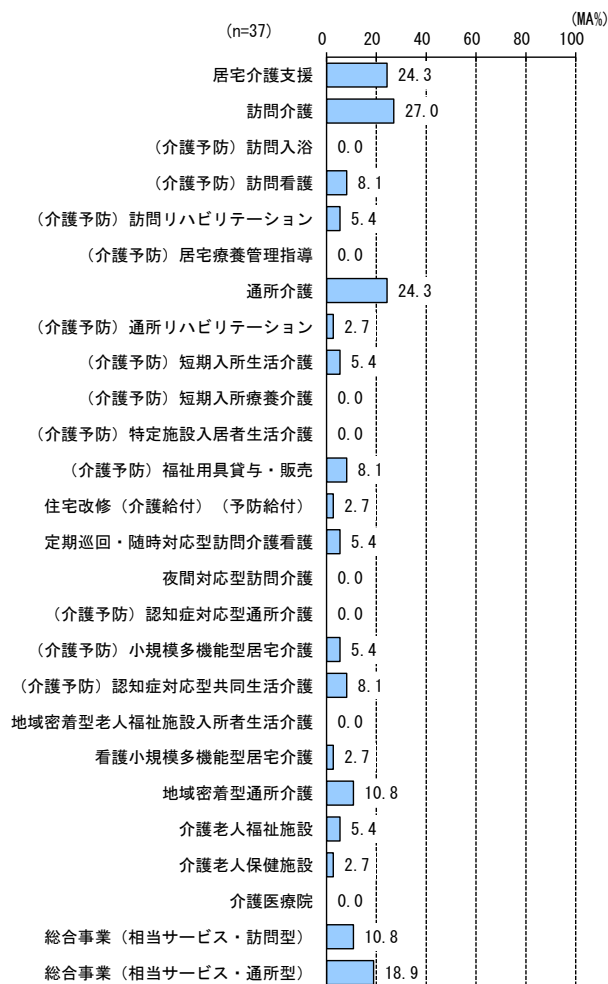


問2 介護サービスについて

- 問2 (1) 貴法人において、今後3年間に、四日市市内で新規参入したいサービスは何か。 (いくつでも○)

○ 今後3年間に新規参入したいサービスについて、「訪問介護」が27.0%で最も多く、次いで「居宅介護支援」「通所介護」が24.3%、「総合事業（相当サービス・通所型）」が18.9%となっています。

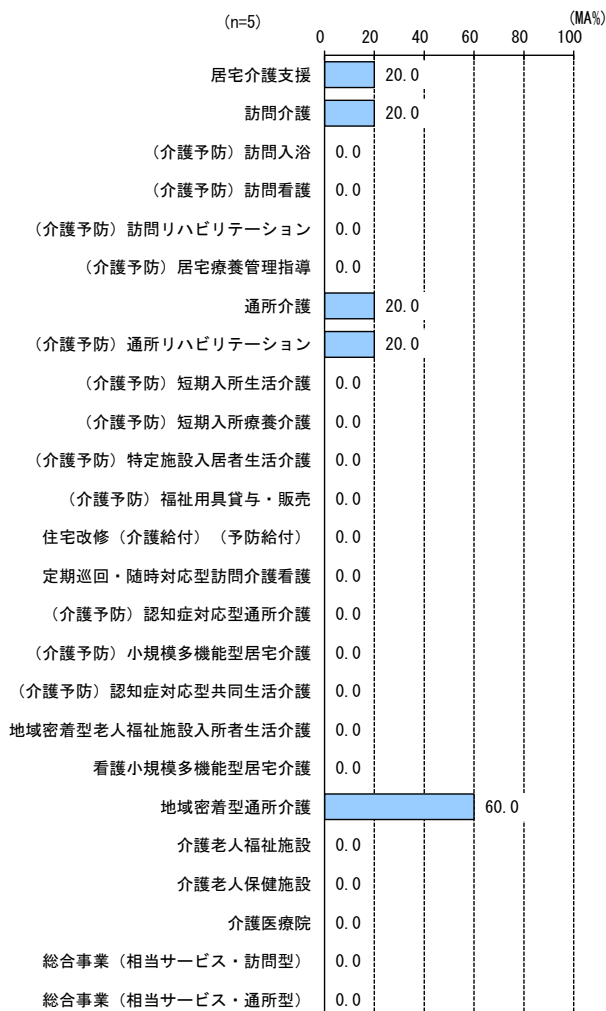
【今後3年間に新規参入したいサービス(MA)】



- 問 2 (2) 貴法人において、今後 3 年間に、四日市市内で廃止を検討しているサービスはありますか。(いくつでも○)

○ 今後 3 年間に廃止を検討しているサービスについて、「地域密着型通所介護」が 60.0%で最も多く、次いで「居宅介護支援」「訪問介護」「通所介護」「(介護予防) 通所リハビリテーション」が 20.0%となっています。

【今後 3 年間に廃止を検討しているサービス (MA)】

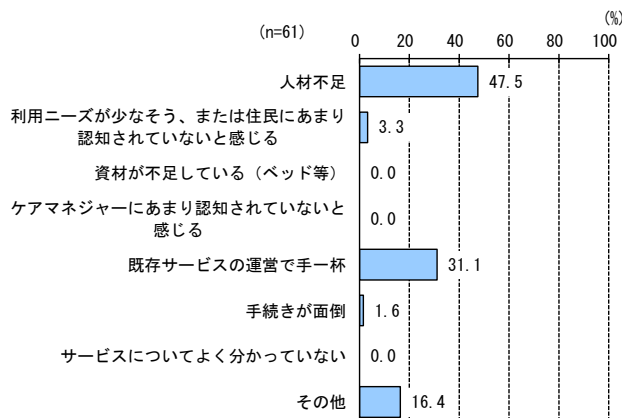


【(1)で「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「(介護予防)小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」のいずれも選んでいない人(四日市市内で新規参入した人とは思っていない人)に伺います。】

●問2(3) 新規参入する際に、最も課題となっているのは何ですか。(ひとつだけ○)

○ 参入障壁となっていることについて、「人材不足」が47.5%で最も多く、次いで「既存サービスの運営で手一杯」が31.1%、「その他」が16.4%となっています。

【参入障壁となっていること】



- 問２（４）次のア～ヌの介護サービスについて、四日市市内の事業所における運営上の困りごとは何ですか。現在、貴法人でのサービス提供の有無にかかわらず、わかる範囲でお答えください。

○ 運営上の困りごとについて、「マンパワーが不足している」「報酬が低すぎる」の回答が多くなっています。

【運営上の困りごと (MA)】

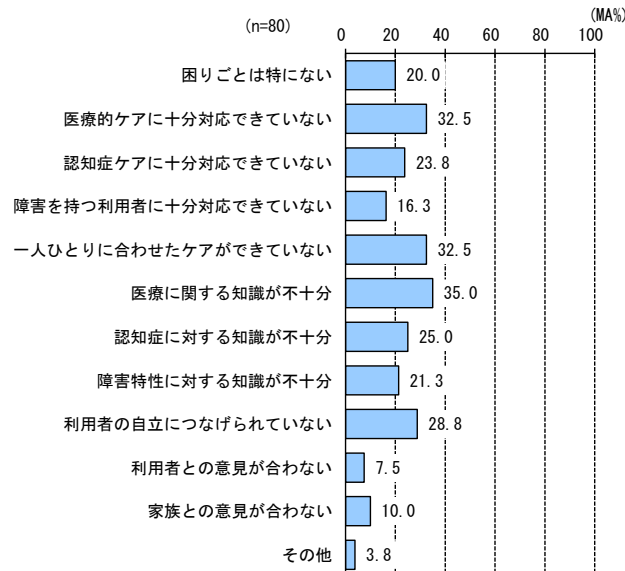
単位：％

		母数 (n)	運営上の困りごと (MA)								
			特 困 り ご と は	利 用 が 低 調 で あ る	競 合 事 業 者 が 多 い	不 マ ン プ ワ ー が い る	低 報 酬 が さ る	か 経 費 が さ る	規 制 が 多 い	わ か ら な い	そ の 他
サ ー ビ ス 種 別	ア. 居宅介護支援	63	6.3	4.8	11.1	49.2	47.6	17.5	15.9	12.7	3.2
	イ. 訪問介護	60	1.7	20.0	8.3	60.0	56.7	16.7	25.0	10.0	3.3
	ウ. (介護予防) 訪問入浴	44	9.1	15.9	-	36.4	15.9	11.4	2.3	31.8	-
	エ. (介護予防) 訪問看護	47	8.5	6.4	31.9	42.6	21.3	12.8	8.5	27.7	-
	オ. (介護予防) 訪問リハビリテーション	41	14.6	7.3	-	39.0	17.1	4.9	4.9	36.6	-
	カ. (介護予防) 居宅療養管理指導	39	20.5	-	2.6	12.8	5.1	2.6	2.6	56.4	5.1
	キ. 通所介護	56	8.9	21.4	35.7	58.9	50.0	32.1	17.9	10.7	-
	ク. (介護予防) 通所リハビリテーション	42	19.0	14.3	7.1	31.0	19.0	16.7	2.4	40.5	-
	ケ. (介護予防) 短期入所生活介護	45	6.7	17.8	13.3	44.4	26.7	24.4	8.9	33.3	2.2
	コ. (介護予防) 短期入所療養介護	39	10.3	5.1	2.6	20.5	7.7	5.1	5.1	66.7	-
	サ. (介護予防) 特定施設入居者生活介護	40	10.0	2.5	-	32.5	17.5	10.0	5.0	55.0	-
	シ. (介護予防) 福祉用具貸与・販売	43	7.0	2.3	23.3	18.6	18.6	14.0	7.0	46.5	4.7
	ス. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	41	7.3	12.2	-	36.6	19.5	4.9	12.2	53.7	-
	セ. (介護予防) 認知症対応型通所介護	39	5.1	15.4	-	41.0	12.8	5.1	10.3	38.5	5.1
	ソ. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	42	2.4	16.7	-	35.7	31.0	19.0	14.3	45.2	-
	タ. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護	41	2.4	2.4	14.6	36.6	29.3	14.6	14.6	46.3	-
	チ. 地域密着型老人福祉施設入所者生活介護	42	7.1	11.9	11.9	33.3	21.4	21.4	9.5	50.0	-
	ツ. 看護小規模多機能型居宅介護	40	2.5	17.5	-	30.0	15.0	12.5	10.0	52.5	-
	テ. 地域密着型通所介護	46	4.3	13.0	17.4	43.5	37.0	26.1	15.2	34.8	4.3
	ト. 介護老人福祉施設	42	9.5	11.9	19.0	54.8	33.3	26.2	16.7	23.8	-
	ナ. 介護老人保健施設	39	15.4	7.7	12.8	38.5	15.4	15.4	10.3	46.2	-
	ニ. 総合事業（訪問型サービス）	52	5.8	7.7	-	42.3	50.0	11.5	9.6	28.8	1.9
	ヌ. 総合事業（通所型サービス）	55	9.1	12.7	16.4	45.5	49.1	20.0	12.7	16.4	1.8

- 問2（5） 貴法人がサービスを提供する際の介護技術上の困りごとは何ですか。（いくつでも○）

○ 介護技術上の困りごとについて、「医療に関する知識が不十分」が35.0%で最も多く、次いで「医療的ケアに十分対応できていない」「一人ひとりに合わせたケアができていない」が32.5%、「利用者の自立につなげられていない」が28.8%となっています。

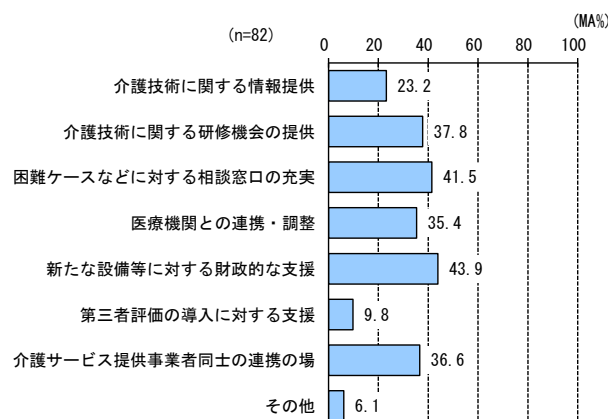
【介護技術上の困りごと (MA)】



- 問2（6） サービスの質を高めるため、どのような支援があると良いですか。（いくつでも○）

○ サービスの質向上に向けた希望支援について、「新たな設備等に対する財政的な支援」が43.9%で最も多く、次いで「困難ケースなどに対する相談窓口の充実」が41.5%、「介護技術に関する研修機会の提供」が37.8%となっています。

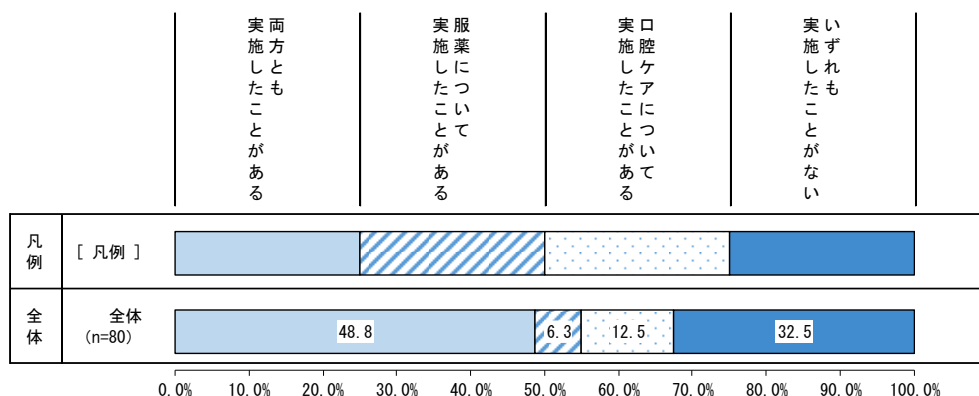
【サービスの質向上に向けた希望支援 (MA)】



- 問2（7） 貴法人では、職員向けに正しい服薬と口腔ケアに関する研修を実施したことはありますか。（ひとつだけ○）

○ 服薬・口腔ケアに関する研修実施状況について、「両方とも実施したことがある」が48.8%で最も多く、次いで「いずれも実施したことがない」が32.5%、「口腔ケアについて実施したことがある」が12.5%となっています。

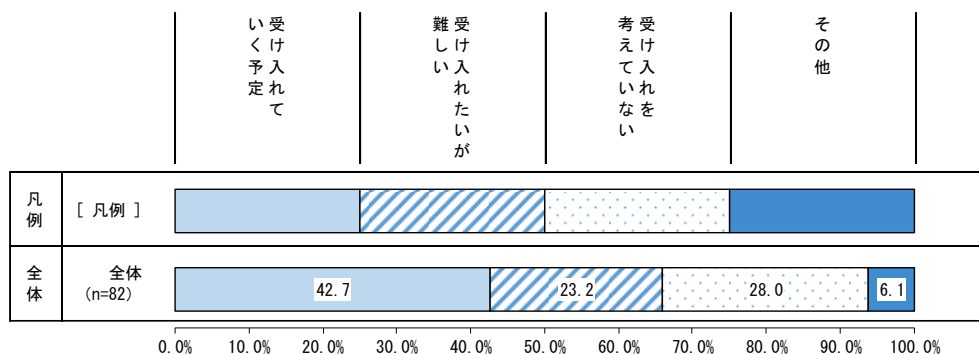
【服薬・口腔ケアに関する研修実施状況】



- 問2（8） 貴法人では、今後、外国人介護人材を受け入れていきたいとお考えですか。（ひとつだけ○）

○ 外国人介護人材の受入意向について、「受け入れていく予定」が42.7%で最も多く、次いで「受け入れを考えていない」が28.0%、「受け入れたいが難しい」が23.2%となっています。

【外国人介護人材の受入意向】

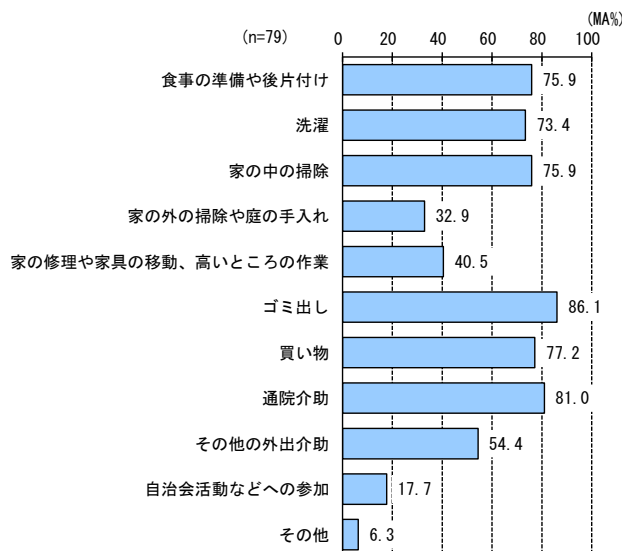


問3 日常生活の支援について

- 問3 (1) 介護や支援が必要な人の日常生活を支援するためのサービスとして、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

○ 日常生活支援に必要なサービスについて、「ゴミ出し」が86.1%で最も多く、次いで「通院介助」が81.0%、「買い物」が77.2%となっています。

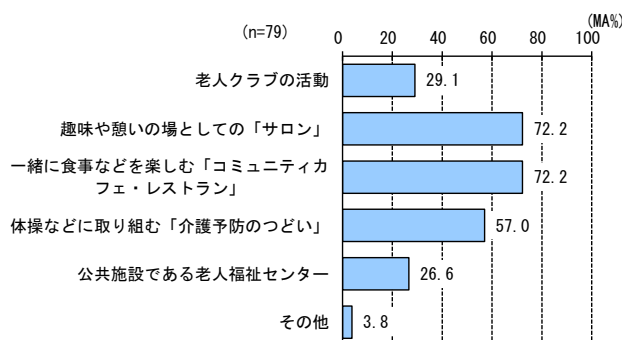
【日常生活支援に必要なサービス(MA)】



- 問3 (2) ふだんの日中、高齢者が集まる場として、どのようなものが必要だと思いますか。(いくつでも○)

○ 日中の高齢者の集いの場へのニーズについて、「趣味や憩いの場としての「サロン」「一緒に食事などを楽しむ「コミュニティカフェ・レストラン」」が72.2%で最も多く、次いで「体操などに取り組む「介護予防のつどい」」が57.0%、「老人クラブの活動」が29.1%となっています。

【日中の高齢者の集いの場へのニーズ(MA)】



問4 地域や多職種間での連携について

●問4（1）貴法人では、四日市市内の各種団体などどのようなかかわりを持っていますか。

- 「ケア会議などで情報共有している」は、民生委員・児童委員が 39.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「かかわりがない」は、老人クラブが 64.9%、シルバー人材センターが 58.7%、学校、幼稚園、保育園が 49.3%、ボランティア団体が 47.3%と多くなっています。

【四日市市内の各種団体などのかかわり(MA)】

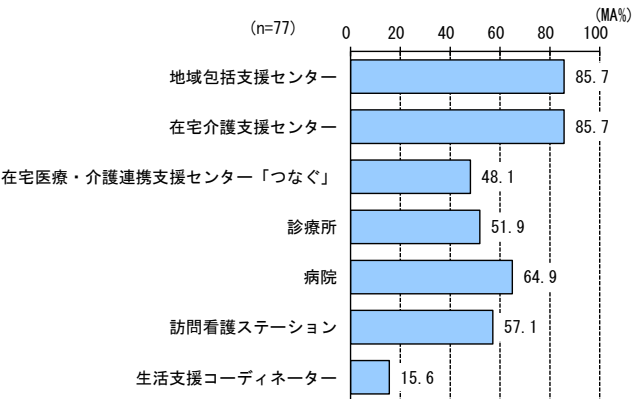
単位：％

		母数 (n)	四日市市の各種団体などのかかわり (MA)					
			共同 事業やサ ービスを 実施して いる	参 加 業 や 協 力 を し て い る	情 報 共 有 し て い る	面 識 が あ る 程 度	か か わ り が な い	そ の 他
団 体 別	【民生委員・児童委員】	76	7.9	30.3	39.5	27.6	19.7	5.3
	【自治会】	74	4.1	23.0	17.6	36.5	27.0	4.1
	【老人クラブ】	74	2.7	10.8	6.8	17.6	64.9	1.4
	【ボランティア団体】	74	8.1	20.3	1.4	24.3	47.3	-
	【社会福祉協議会】	76	13.2	31.6	30.3	28.9	11.8	5.3
	【地区社協】	74	5.4	32.4	29.7	17.6	28.4	1.4
	【シルバー人材センター】	75	6.7	10.7	4.0	17.3	58.7	5.3
	【学校、幼稚園、保育園】	75	2.7	28.0	1.3	14.7	49.3	6.7

●問4（2）貴法人では、次のような機関等と連携を図ることができていますか。連携できている機関等を選んでください。（いくつでも○）

- 関係機関との連携状況について、「地域包括支援センター」「在宅介護支援センター」が 85.7%で最も多く、次いで「病院」が 64.9%、「訪問看護ステーション」が 57.1%となっています。

【関係機関との連携状況(MA)】

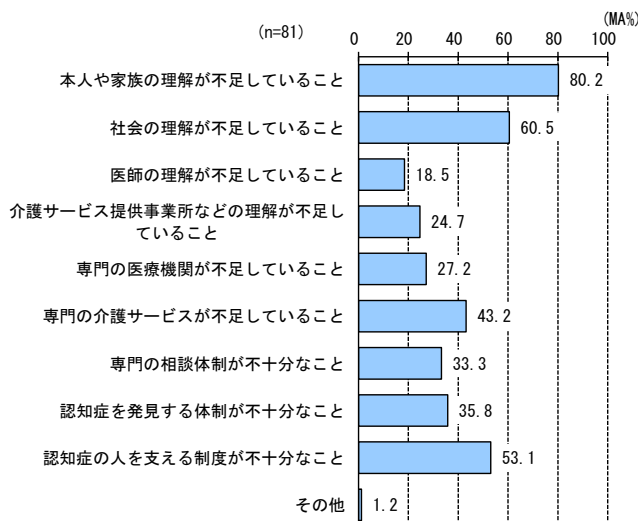


問5 認知症対策について

- 問5（1） 認知症対策を充実させていく上での課題は何だと思いますか。（いくつでも○）

- 認知症対策の課題について、「本人や家族の理解が不足していること」が80.2%で最も多く、次いで「社会の理解が不足していること」が60.5%、「認知症の人を支える制度が不十分なこと」が53.1%となっています。

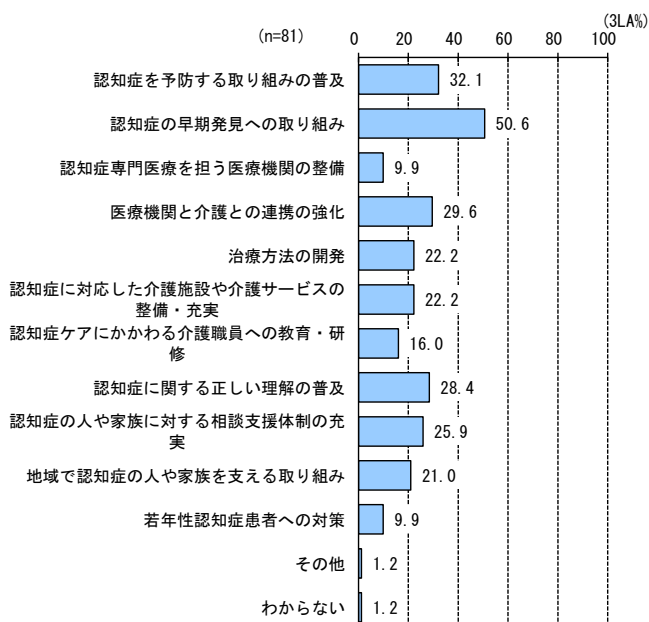
【認知症対策の課題(MA)】



- 問5（2） 社会において、特に重点を置くべき認知症対策は何だと思いますか。（3つまで○）

- 重点を置くべき認知症対策について、「認知症の早期発見への取り組み」が50.6%で最も多く、次いで「認知症を予防する取り組みの普及」が32.1%、「医療機関と介護との連携の強化」が29.6%となっています。

【重点を置くべき認知症対策(3LA)】

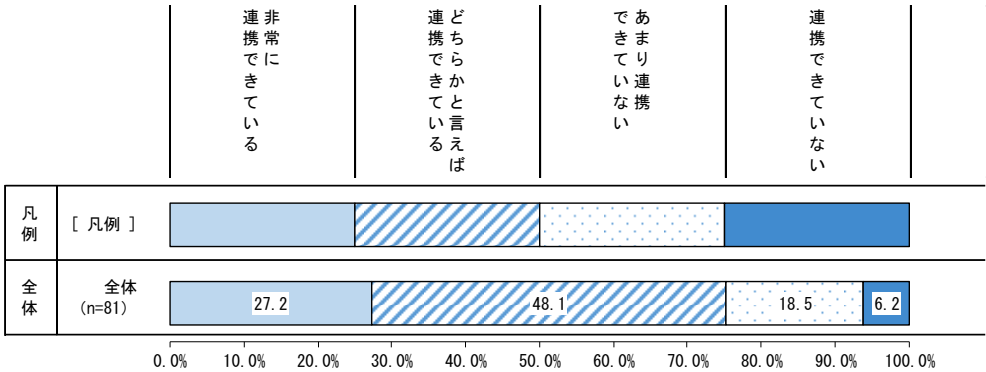


問6 医療との連携、在宅での療養・介護について

●問6（1） 貴法人では、医療職（主治医、病院の地域連携室、訪問看護ステーションなど）との連携はできていますか。（ひとつだけ○）

○ 医療職との連携状況について、「どちらかと言えば連携できている」が48.1%で最も多く、次いで「非常に連携できている」が 27.2%、「あまり連携できていない」が 18.5%となっています。

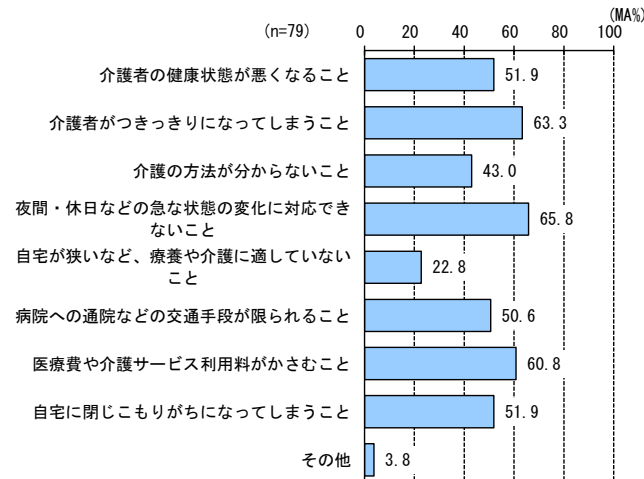
【医療職との連携状況】



- 問6（3） 在宅での療養・介護を希望される方は、どのようなことに困っていると思いますか。（いくつでも○）

○ 在宅療養・介護における困りごとについて、「夜間・休日などの急な状態の変化に対応できないこと」が 65.8%で最も多く、次いで「介護者がつきっきりになってしまうこと」が 63.3%、「医療費や介護サービス利用料がかさむこと」が 60.8%となっています。

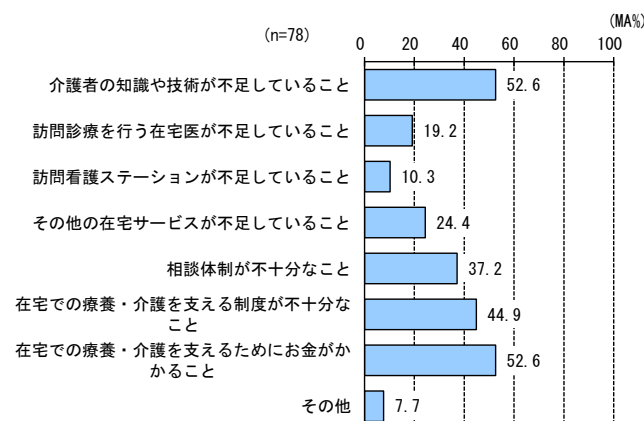
【在宅療養・介護における困りごと(MA)】



- 問6（4） 在宅での療養・介護を支援していく上での課題は何だと思われますか。（いくつでも○）

○ 在宅療養・介護支援の課題について、「介護者の知識や技術が不足していること」「在宅での療養・介護を支えるためにお金がかかること」が 52.6%で最も多く、次いで「在宅での療養・介護を支える制度が不十分なこと」が 44.9%、「相談体制が不十分なこと」が 37.2%となっています。

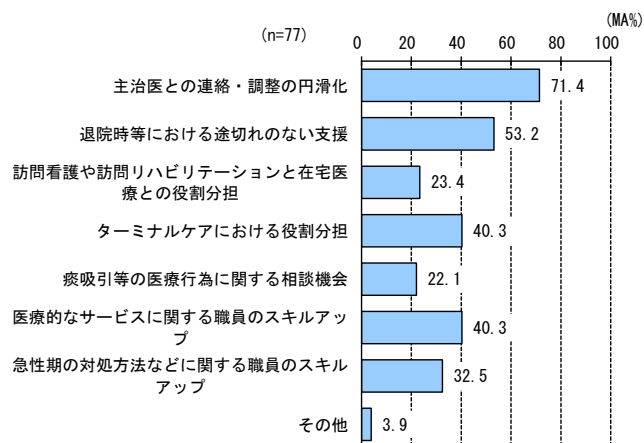
【在宅療養・介護支援の課題(MA)】



●問6（5） 貴法人では、医療にどのようなことを希望されますか。（いくつでも○）

- 医療機関への要望について、「主治医との連絡・調整の円滑化」が71.4%で最も多く、次いで「退院時等における途切れのない支援」が53.2%、「ターミナルケアにおける役割分担」「医療的なサービスに関する職員のスキルアップ」が40.3%となっています。

【医療機関への要望(MA)】

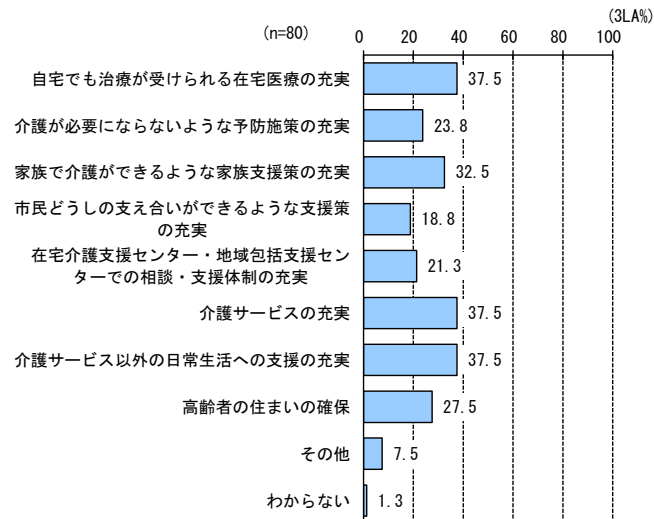


問7 今後の介護について

- 問7（1） 高齢者への介護体制の充実のため、行政は何をすべきだと思いますか。（3つまで○）

○ 介護体制充実のために行政が取り組むべきことについて、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」「介護サービスの充実」「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」が37.5%で最も多く、次いで「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が32.5%、「高齢者の住まいの確保」が27.5%となっています。

【介護体制充実のために行政が取り組むべきこと(3LA)】



- 問7（2） 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。（3つまで○）

○ 地域で暮らし続けるために重要な要素について、「ふれあいいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり」が50.6%で最も多く、次いで「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が43.2%、「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」が40.7%となっています。

【地域で暮らし続けるために重要な要素(3LA)】

